

2020年度 UBC オンライン留学報告書

国際食料情報学部・国際食農科学科・1年・加藤 有里

1, オンライン留学に参加した目的について

今回私が、UBC のオンライン留学に参加を決めたのは、一番に、自分の語学力向上のためという理由がある。私は将来、アフリカの地で、現地の人より豊かな生活を送れるような、サプライチェーンのしくみを使った会社の設立を目指している。そのためにまず必要不可欠なのは、英語であり、それと同時に、高いコミュニケーション能力もまた、必要不可欠なものだと考えている。これらの力を身に着けるために、留学はぴったりなものだと思っていた。大学生になったら、多くの国へ行き、様々な経験を積みたはずとずっと考えていた。しかし、コロナの流行で、気軽に海外へ行くことは叶わなくなり、この先も、いつから留学や海外旅行に行けるようになるのか、全く分からなくなってしまった。そんなコロナ禍において、今回のオンライン留学の知らせを見たときは、コロナ禍の影響を受けることなく留学ができるという点が、とても新鮮で魅力的に感じた。更に、今回は、オンラインでの留学ということで、異国に行く楽しさや、新しい人との出会いは少なくなるが、行く手間が省けるため、その分のお金や、移動や準備にかかる時間を節約できることは、魅力的な部分だと感じた。また、実家からなど、学校に通うことなく好きな場所で受けられることも、とても魅力的だった。以上の点から、私は今回のオンライン留学に参加することを決めた。

2, 印象的だった講義内容や感想について

私のグループでは、多くの講義で先生以外の外国人がゲストとしてクラスにきて、その時々テーマについて話し合った。何人かのゲストと話をしたが、その中でも、カナダの NGO で貧しい人々を助けるための活動をしていた John がゲストとしてきた時のことが、特に印象に残っている。なぜなら、彼が行ってきた活動は、私が将来やりたいことに似ていたからだ。彼は私たちに、発展途上国の人々に何をすべきか、どういった支援をするべきかなどを聞いて、私たちに、もっと考えるように促した。これまで、このような話題を同年代の人達と話し合ったことがないためとても新鮮で、また他の人の意見を聞いたことがとてもうれしかった。

今回のオンライン留学の講義は、環境問題や、貧困、差別、格差など、普段日本ではあまり取り上げないテーマのものについてたくさん話し合った印象がある。普段日本で生活していると忘れがちになってしまう話題でも、現在進行形で続いている問題であり、けっして私たちと無関係の問題ではないことをあらためて痛感させられた。今回講義で取り上げたいくつかのこれらのテーマの中でも特に私が印象に残っているのは、服を作るために使われている水の量の問題についての動画を視聴し、話し合った回である。その動画では、ファストファッションのお店から出てきたお客に、質問者が、今さっき買った服に、どのくらいの量の水が使われていると思うか質問する。広場に置かれたいくつもの大きな水のタンクを目安に、客は自分の予想を答えるが、実際はそれをはるかに超える量の水が、一枚の服を作るのに使われていることがわかり、全員が驚きを隠せず、当たり前

っていた服に対する考え方を改めさせられる動画だった。動画の中で紹介された服のうちの一つは、その服を作るために使われていた水の量は、ひと一人が14年間に必要な水の量に匹敵していた。私はこの動画で初めて、服を作るために使われている水の量の多さを知った。廃棄される服の量の多さや、牛肉など動物性の食品にかかるエネルギーの問題については、以前から考えることがあったが、まさか服の生産に、水の問題があるとは夢にも思っていなかった。

今回のオンライン留学を通して、私たちが抱える様々な問題を考えることができ、あらためて私たち人間は、必要以上に自然資源を使いすぎていると感じた。特に、日本を含む先進国では、目先の便利さを求めて、簡単に多量の自然資源を利用している。ただ最近では、ヨーロッパを中心に現在の環境を考えない暮らしについて深く考え議論する人が増え、それがビーガンなど、新しい暮らし方を実践する人の増加にもつながっていると考える。日本でも少しずつそういった考えが広まってきてはいるが、まだまだ環境問題への関心は低く、また、暮らし方を変えた人への悪意ある批判を目にすることもある。日本では、環境問題の話題がメディアなどに取り上げられることが少なく、議論する機会もほとんどないため、どこか他人事のようになってしまうている。

今回のオンライン留学では、語学力の向上はもちろんだが、今まで知らなかった問題や、どこか他人事だと思っていた問題を真剣に受け止め、自分なりに深く考えるいい機会となり、とても充実した時間を過ごすことができた。

3, 目的達成度の自己評価

今回のオンライン留学の最大の目的は、英語力の向上だった。この点では、満足のいく結果になったと感じている。自分自身のことのため、客観的に見て評価することはできないが、週4日、毎朝2時間ほど、英語だけの環境に身を置けたことはとても刺激的で、実際に講義終了後は、パッとでるのが英語であったりしたので、きちんとオンライン留学の効果が出ていると感じた。また、初めのころはうまく相手に自分の考えを伝えることができるか不安で、あまり自発的に発言することができなかったが、コースの終了が近づくにつれ、自分の意見を堂々と、また初めのころと比べたらスムーズに伝えることができるようになっていた。

2でも述べたように、今回のオンライン留学では、今まで知らなかったことを講義の中で発見できたと同時に、自分の考えを深めることもできた。ただ受動的に講義を受けるのではなく、自分の考えをしっかりと持ち、それを他者と共有することで、新たな発見や刺激にもつながると感じた。また感じるだけでなく、講義の回数を重ねるにつれて、自分の考えを明確にしたうえで、それをうまく共有できるようになっていったのではと感じている。

また、新しい表現の仕方や、単語、文法も多く学ぶことができた。講義のなかで繰り返しそれらを使うことで、自然と身に付いた。さらに、同じ質問の内容でも、言い方にはいくつかあり、より自然で、相手にも失礼ではない言い方も一緒に学ぶことができた。オンライン留学に参加を決めた際は、スピーキング力と、コミュニケーション能力の向上を目標にしていたが、講義でライティングや文法、単語のことを重点的に学習してないにも関わらず、コース終了後改めて自身の学習について振り返ってみると、英語力が全体的に向

上していると強く感じた。

4. 今後の取り組みについて

今回のオンライン留学を通して、英語力だけでなく、自己の表現の仕方も以前に比べ上達したように感じる。この感覚を忘れることなく、これからの日常でも、自分の考えや思いをしっかりと理解して、整理できるようになりたいと思っている。普段の生活では、ただその場の雰囲気流され、違う考えを持っていたとしても、そのまま何も発言せずに終わってしまうことが多々あった。これからは、相手の意見をきちんと理解し受け入れたうえで、自分の意見も相手に伝えられるように、しっかりと自分自身を理解したいと思う。

また、今回のオンライン留学では、自身の習得している英単語の量の低さも痛感した。自分の言いたいことがあっても、その言葉の単語が分からなければ相手に伝えることはできなく、相手の発言も理解することはできない。これは、相手とコミュニケーションを取るうえで致命的な欠点であり、より深く相手と良い関係を築くために必要不可欠であると考え。そのため、これからは、これまで以上に英単語の学習に力を入れていきたいと強く思っている。今までの学習は、テストや課題のために学習していた面が大きかったが、これからは、新しい出会いと、自分のやりたいことのために、大変さよりも学習を楽しむことを大事にしていきたいと思った。

大学入学以前から、留学へのあこがれが強かった。今回、オンラインではあるものの、留学できたことは、とてもいい経験になった。このコロナ禍が収束し、以前のように留学や旅行にいける状態になったら、必ずチャレンジしてみたいと思っている。また、今回知ることができた問題についても、自分なりに考えることを続けたいと思っている。無知で無関心であるのではなく、多くの情報を吸収し、自分でしっかりと考え続けるようにしたい。今年の4月に入学したばかりだが、すでに前期は終了し、一年も残り半分となってしまった。あっという間に過ぎていく時間の中で、残りの大学生活の時間を大事にし、様々なことに挑戦し続けて充実した時間を過ごせるように努力していきたい。

5. 次年度以降の参加者へ、事前に準備、勉強しておくべきこと（箇条書き）

- 世界のニュースに目を向ける。それについて、いくつかの記事やニュースを見ることで、自分なりに理解を深めておくともっといい。
- 私のクラスでは、貧困や環境問題について特に深く話し合った。何か一つでも知っていることがあると、そこから話題が広まるため、事前に調べておくといいと思う。
- 私のクラスでは、先生の友人や家族がゲストとして講義にきて、その時々テーマについて話した。その際に、必ず自己紹介はするので、自分の自己紹介（学部や、研究していることなど）を事前に準備しておくとかかなりいいと感じた。自分は初め、自分の専攻を英語で説明できず、時間がかかってしまい後悔しているので、学部や学科のことは説明できるように事前に準備しておくことを強く勧める。
- 英単語は多ければ多いほど相手をより理解できるし、自分のこともうまく表現できるので、英単語は手を抜かず勉強したほうが良いと改めて感じた。文法はもちろん大事だが、単語や熟語がわからないと、そもそも理解できないため、時間に余裕がない場合は、英単語や熟語を重点的に学習することをすすめる。